

天皇原トンネル（仮称）建設工事に係る工事説明会の結果について

1 開催目的

本説明会は、天皇原トンネル（仮称）の工事着手に当たり、地元の方々に工事の施工方法等について周知を図るために開催したものです。

2 開催概要

対象地区	開催日時	開催場所	来場者数（人）
水内	令和 6 年 2 月 28 日（水） 19：00～20：15	サンピアゆき 1 階 会議室 1・2	25
戸山	令和 6 年 2 月 29 日（木） 19：00～20：00	戸山公民館 2 階 研修室 1	22
		合 計	47

3 説明内容（詳細は別添資料 1 及び資料 2 のとおり）

(1) 天皇原トンネル（仮称）建設工事のスケジュールについて

- ・ 令和 5 年 12 月に契約を締結しました。工期は令和 5 年 12 月 19 日から令和 10 年 1 月 31 日までです。
- ・ トンネル工事完成後、照明や非常用設備等を設置するための工事を行い、令和 10 年度末の供用開始を目指します。

(2) トンネル工事の施工方法について

- ・ 佐伯区側（麦谷側）から、NATM 工法により昼夜の発破掘削を行います。
- ・ 工事に伴い発生する排水は適切に処理し、不明谷川へ放流します。
- ・ 建設資材の搬入や掘削残土の運搬のため、両地区内にダンプトラックなどの大型車両が往来します。
- ・ ダンプトラックにはゼッケンを掲示し、当該工事の関係車両であることが識別できるように管理します。
- ・ 交通安全対策のため、作業従事者への教育を徹底するとともに、適切に交通誘導員を配置するなど、安全第一で作業を進めます。

(3) トンネル工事の進捗等についての周知

- ・ トンネル工事の進捗などを記載した「工事だより」を作成し、町内会連合会への回覧や本市（安佐南区）ホームページに掲載します。なお、工事について大幅な計画変更等が生じた場合は、町内会連合会を通じて、地域の方々に情報提供します。

4 主な質問とその回答

説明会で皆様から頂いた質問と本市の回答は、別紙 1 のとおりです。

5 その他

本市（安佐南区）ホームページ URL 及び問い合わせ先は下記の通りです。

【URL】 https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/asaminamiku/list514-7742.html	
安佐南区 天皇原トンネル 検索	
【問い合わせ先】 （計画に関すること） 安佐南区農林建設部地域整備課 担当：淀川、増見（082 - 831 - 4960）	（工事に関すること） 前田・日本国土・河井建設工事共同企業体 現場代理人：下垣（080-5365-8092） 監理技術者：郡山（080-8560-0658）

主な質問とその回答

質問	回答
■ 設計・計画について	
トンネル掘削は、標高が低い方（戸山側）から高い方（湯来側）に向かって掘削するのが普通であるが、なぜ高い方（湯来側）から掘削するのか。	戸山側は、トンネル坑口から現道まで 30～40m しかなく、工事に必要なトンネル仮設備が設置できないことから、湯来側から掘削する。高い方から低い方に掘削することについては、国などで複数事例があり、問題ない。
■ トンネル残土等の運搬について	
ダンプ通行時間について、小中学生の通学時間と重なるため危険である。恵下埋立地の工事では通学時間を避け 8 時半から開始していた。	今後、検討を行う。 〔 実際に通行する児童数を把握した上で、小中学校とも相談しながら、対応を検討する。〕
トンネル残土はどこに持っていくのか。	残土の一部は、恵下埋立地に仮置きする予定であり、それ以外の残土は、受け入れ可能な施設への搬出を検討している。
多目的広場の埋立土には使用するのか。	多目的広場の整備において、トンネル残土の一部を活用することについて、広場整備を所管する環境局と協議、調整を行っている。
■ 工事に伴い発生する排水について	
工事の排水を不明谷川へ放流することによりアユに影響が出ないようにすること。	工事の排水は、基本的には、広島県の排水基準である、浮遊物質量を 70ppm 以下（日間平均値）、pH を 5.8～8.6 以内となるように濁水処理設備で処理した上で、不明谷川に放流するため、問題ない。
恵下埋立地の工事では、工事の排水を常時計測していたが、今回工事はどうか。	今回工事でも常時計測する。
計測値は Web で公開するのか。	Web での計測値の公開は考えていない。
■ 供用後について	
歩行者・自転車は、トンネル内を通行できるのか。管理用通路を通行してよいか。	歩行者・自転車は、広島湯来線の現道を通行してほしい。トンネル内の管理用通路は狭く危険であるため、通らないでほしい。
トンネルルートの変更により、縦断勾配が急になった。供用後の安全対策は、どのように考えているか。	広島県公安委員会と協議した結果、速度抑制を目的とした路面標示を行う予定である。
■ その他	
戸山側は、トンネル付近に民家があり、井戸枯れが心配されるため、しっかりと調査をしてもらいたい。	工事の影響範囲について、事前に井戸があるお宅を把握したうえで、水位や水質などの調査を行っていく。
恵下埋立地の浸出水放流管は、トンネル内の管理用通路の下に設けるのか。配管だけでなく管理柵も設けるのか。	浸出水放流管及び管理柵は、環境局発注の工事において、管理用通路に設ける計画である。
広島湯来線（戸山側）の完成区間は、センターラインを追越禁止にしてはどうか。	交通規制は、広島県公安委員会が判断し設置するため、要望を伝える。